

祥しょう

雲うん

閣かく

たより vol.34

## 祥雲閣 からのお知らせ

4月に入り、明るく清らかなすがすがしい季節になりました。春の陽気があふれる庭園では樹々の枝に新しい芽がふくらみ、葉が出る準備をしています。

祥雲閣では、四季折々の庭園を眺めながら、テーブルと椅子を設置した立礼茶室（椅子にお掛けいただくお席）で、気軽にゆっくりとお茶とお菓子を楽しんでいただけます。

日曜日から金曜日は抹茶、土曜日は煎茶の提供を行っております。



大崎市祥雲閣

令和4年 3月29日発行

〒989-6105

宮城県大崎市古川福沼一丁目2番2号

TEL・FAX 0229-24-3385

煎茶提供に合わせて、清泉幽茗流清泉会による文人華道の席飾りをご覧ください。



## 春の風景～



祥雲閣の春の風景と言えば「八重の紅枝垂れ桜」です。枝が垂れると書いて枝垂れ桜。字の通り垂れた枝に4月初旬から中旬まで滝のような花が咲きます。小さな花びらが幾重にも重なり美しい花を咲かせます。春はさまざまな花が咲きますが、わずか一週間ほどで散ってしまう桜のはかなさに日本人は古くから魅せられてきました。祥雲閣の枝垂れ桜をぜひご覧下さい。

季節によって変わる  
茶室のしつらえと茶道具

## 掛物

言葉の意味を理解することで、亭主のもてなしの心を知ることができます。

茶会で使われる道具のなかで席入りをして第一に拝見するのが掛物です。掛物とは床の間に掛けられる軸のことで、季節の言葉や禅語などが書かれ、茶会のテーマを表します。



### 柳緑花紅 やなぎはみどり、はなはくれない

春になると柳の新芽が緑色になり、美しい花が紅に咲くように、常に自然はあるがままの姿を見せてくれます。

美しい春の景色を表す言葉ですが、季節の移ろいに目を向けることで人は心が癒されるのでしよう。

※諸説あります。

○●○ 季節の和菓子 ○●○

## 桜餅

春を感じさせる菓子と言えば桜餅です。塩漬けにした葉で菓子を包んだもので、葉の塩味と香りが餡の甘さとよく合います。

関東風は、小麦粉で焼いた皮で餡を包み、関西風は道明寺粉を使って餡を包みつつぶした食感です。※諸説あります。



## カレンダー

※ は休館日（変更する場合があります）

4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	②	1	2	3	4	5	6	⑦				1	2	3	④
3	4	5	6	7	8	⑨	8	9	10	11	12	13	⑭	5	6	7	8	9	10	⑪
10	11	12	13	14	15	⑯	15	16	17	18	19	20	⑰	12	13	14	15	16	17	⑱
17	18	19	20	21	22	⑳	22	23	24	25	26	27	㉘	19	20	21	22	23	24	㉙
24	25	26	27	28	29	㉚	29	30	31					26	27	28	29	30		

### ◆◆◆祥雲閣のご案内◆◆◆

庭園を眺めながら500円でお茶とお菓子を気軽に味わえます。  
(10時～16時まで)

茶道をはじめ、箏・謡・舞踊などの発表会やお稽古にご利用いただけます。  
貸館をご希望の方は、祥雲閣へお問い合わせ下さい。



- ◆所在地 大崎市古川福沼一丁目2番2号
- ◆電話 0229-24-3385
- ◆交通 JR古川駅から徒歩約20分  
東北自動車道古川ICより車で約10分
- ◆駐車場 有
- ◆休館日 月曜日  
(月曜が祝日の場合は翌日)
- ◆入館料 無料

